

平成25年度事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

I 公益事業

1 研究事業

(1) 関門港における船舶の地震津波対策についての調査研究

近い将来発生が予想される「東南海、南海地震」による地震津波が関門港へ来襲する状況を、内閣府中央防災会議の検討における南海トラフ巨大地震モデルを対象として津波シミュレーションを実施し、関門港に存在する船舶への影響を調査、津波減災に寄与することを目的として調査した。25年度は2ヶ年で実施する計画の2年目として、前年度の調査結果を踏まえて交通流シミュレーションを実施し総合的に検討、関門港の海域ごとに航行船舶及び係留・錨泊船舶の安全対策を取りまとめた。

(委員会2回、作業部会1回)

(2) 関門航路整備等海上工事における安全対策の一般通航船舶へ与える影響についての調査研究

国際的基幹航路であり、また国内海上交通の要衝でもある関門航路の航行安全に関わる調査・研究は、当協会にとって極めて重要な事業であり、同航路の整備等に際しては、幅広い関係者の参画を得てその時々状況に応じた最適な航行安全対策等を検討してきたところであるが、実際にこの航路を利用する船舶の操船者の視点に立った問題点等の把握が必ずしも十分とは言い難い状況にあることから、今後の当協会における同航路の航行安全に関する調査・研究をより充実させるために、種々船舶の操船実務者の視点に立った問題点等を広く調査し取りまとめた。

(調査部会2回)

2 調査事業

(1) 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究

石垣港港湾計画改訂に伴う航行安全検討業務委託

委託者：石垣市

期 間：平成25年9月13日から平成26年3月29日まで

・石垣港新港地区において、大型客船バースの新規整備及び外貿埠頭の対象船型の大型化とそれぞれの関連施設の整備について既定計画を変更するものであり、各変更計画に関して航行安全性を調査し、航行安全対策を検討した。

(委員会2回)

(3) 海上工事に伴う船舶航行安全対策調査研究

① 国道266号交通円滑化改築（新天門橋船舶航行安全対策）委託

委託者：熊本県

期 間：平成24年7月26日から平成25年3月22日まで

(変更)：平成24年7月26日から平成26年2月28日まで

・三角港三角ノ瀬戸において計画されている新天門橋架橋工事に、海上工事となる鋼桁架設工事(直下吊)、パイロットロープ渡海作業を主として、同工事作業時の通航船舶に対する影響等を調査のうえ、工事中の通航船舶の操船の安全性についてビジュアル型操船シミュレータ実験により詳細に確認、工事中の安全管理体制を含めて総合的な安全対策を検討した。

(委員会3回、作業部会1回、ビジュアル型操船シミュレータ実験1回)

② 那覇空港滑走路増設事業に係る空港周辺航行船舶調査業務

委託者：沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所

期 間：平成25年5月17日から平成25年12月27日まで

・那覇空港滑走路増設整備工事中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について、工事作業に従事する多種・多様な船舶の運航・稼働と那覇港への入出港船舶等との関係を詳細に調査し、工事作業船及び航行船舶の安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等、総合的な航行安全対策について検討した。

(委員会3回)

③ 鹿児島港(新港区)県単港湾整備調査委託(船舶航行安全対策)

委託者：鹿児島県 鹿児島地域振興局

期 間：平成25年6月4日から平成26年3月25日まで

・鹿児島港(新港区)改修工事(第3ステージ)中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について、第1・2ステージに引き続き、狭隘な海域である新港区の港湾活動を維持しながら工事を実施することを前提に、地区利用船舶と各整備工事中の可航水域との関係を詳細に調査し、工事作業船及び航行船舶の安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等について検討した。

(委員会2回、作業部会1回)

④ 関門航路(大瀬戸～六連地区)外2件船舶航行安全対策検討調査

委託者：九州地方整備局関門航路事務所

期 間：平成25年7月5日から平成26年3月28日まで

・関門航路の西山沖、山底ノ鼻沖、西海岸沖、中央水道各海域における潜水探査及び浚渫工事中の安全対策並びに西山沖と前田沖浚渫工事の同時施工の安全性について調査・検討した。特に通航船舶への影響が大である西海岸沖浚渫工事中の検討にあたっては、航路の暫定的拡幅を前提に検討するとともに、ビジュアル型操船シミュレータ実験により船舶通航の安全性を確認する等詳細に調査したうえで、工事作業船および通航船舶の安全を確保するための管理体制を含めて総合的な安全対策を検討した。

(委員会5回、作業部会4回、ビジュアル型操船シミュレータ実験1回)

⑤ 北九州港（新門司地区）航路（－10m）整備船舶航行安全対策検討調査

委託者：九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

期 間：平成25年8月6日から平成26年3月25日まで

・北九州港（新門司地区）航路整備工事中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について、同地区の港湾活動を維持しながら工事を実施することを前提に、同航路利用船舶と整備工事中の可航水域との関係を詳細に調査し、工事作業船及び航行船舶の安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等について検討した。

（委員会2回、作業部会1回）

⑥ 苅田港（本港地区）航路整備に伴う船舶航行安全対策検討調査

委託者：九州地方整備局 苅田港湾事務所

期 間：平成25年9月2日から平成26年3月20日まで

・苅田港（本港地区）航路整備工事中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について、同地区への入出港船舶及び付近航行船舶の通航実態を調査し、各工事段階ごとに可航水域と通航船舶の関係を確認したうえで、工事作業船及び航行船舶に対する安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等について総合的に検討した。

（委員会2回、作業部会1回）

⑦ 石垣港船艇基地整備に係る航行安全検討業務

委託者：第十一管区海上保安本部

期 間：平成25年11月22日から平成26年3月31日まで

・石垣港浜崎町地区における巡視船艇の係留施設整備計画に関し、係留施設ごとの出入港操船の安全性および付近海域利用船舶への影響等を調査し、航行安全対策を検討した。

（委員会2回）

(3) 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究

① 熊本港単県港湾調査（船舶航行安全対策検討）委託

委託者：熊本県

期 間：平成25年4月5日から平成25年10月31日まで

・熊本港航路を整備し、同港－7.5m岸壁に2.7万GT級客船および2.2万GT級客船を受入れる計画に伴い、各船の入出港および係留の安全性について調査・検討した。特に入出港の安全性については、基本的な検討を行ったうえで1船を選定して簡易景観型操船シミュレータ実験を行い、船体に作用する風圧力等の外力影響を確認して航行安全対策を検討した。

（委員会2回、特別作業部会1回、簡易景観型操船シミュレータ実験1回）

② 佐世保港船舶航行安全対策調査業務委託

委託者：佐世保市

期 間：平成25年7月16日から平成26年3月28日まで

・佐世保港三浦地区を整備し、7.7万GT級及び5万GT級等4船型の大型客船を受入れる計画に伴い、各船の入出港および係留の安全性について調査のうえ安全対策を検討した。特に入出港の安全性については、基本的な検討を行ったうえで2船を選定してビジュアル型操船シミュレータ実験を行い、船体に作用する風圧力等の外力影響を詳細に調査して安全対策を検討した。

(委員会3回、作業部会1回、ビジュアル型操船シミュレータ実験2回〈追加実験1回を含む〉)

③ 油津港大型客船係留施設検討業務

委託者：宮崎県油津港湾事務所

期 間：平成25年7月17日から平成25年8月15日まで

・油津港への14万GT級大型客船の受け入れを検討するための調査として、同港第9号岸壁及び第10号岸壁の係留施設の改良の要否、強化策等について検討した。

3 情報提供事業

(1) 船舶航行安全支援業務

① 博多港整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

期 間：平成26年1月27日から平成26年10月31日まで

・博多港中央航路およびアイランドシティ地区整備工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

② 関門航路整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局

期 間：平成25年4月1日から平成26年3月28日まで

・関門六連島西側地区及び早瀬瀬戸地区における整備工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

③ 北九州港（新門司地区）整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

期 間：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

・新門司地区の海上工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通

航船舶及び工事の安全を図った。

④ 鹿児島港整備船舶航行安全管理業務

委託者：九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所

期 間：平成25年4月1日から平成25年8月30日まで

・鹿児島港（新港区）改修工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

⑤ 改修（統合）奥洞海航路船舶航行安全管理業務委託（25）

委託者：北九州市

期 間：平成25年5月17日から平成26年3月31日まで

・奥洞海航路浚渫事業の実施にあたり、付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事作業に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事作業関係者等に速やかに伝達し、航行船舶及び工事作業関係者等の安全を図った。

⑥ 宇部港本港地区整備船舶安全管理業務

委託者：中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

期 間：平成25年4月24日から平成25年11月15日まで

・宇部港本港地区の整備工事の実施にあたり、付近航行船舶の安全確保及び工事作業の安全と円滑な遂行のため、工事作業に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事作業関係者等に速やかに伝達し、航行船舶及び工事作業関係者の安全を図った。

⑦ 鹿児島港整備船舶航行安全管理業務

委託者：鹿児島県鹿児島地域振興局

期 間：平成25年8月13日から平成25年11月20日まで

（変更）：平成25年8月13日から平成26年1月14日まで

・鹿児島港（新港区）改修工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

⑧ 那覇空港滑走路増設事業船舶安全情報管理業務

委託者：沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所

期 間：平成26年2月1日から平成26年3月31日まで

・那覇空港滑走路増設工事の実施にあたり、付近航行船舶の安全確保及び工事作業の安全と円滑な遂行のため、工事作業に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事作業関係者等に

速やかに伝達し、航行船舶及び工事作業関係者の安全を図った。

(2) 海難防止強調運動及び海難防止啓蒙活動

「西日本海難防止強調運動推進連絡会議」及び同運動推進に伴う海難防止啓蒙活動全国海難防止強調運動における運動方針を受け、西日本の推進連絡会議を開催するとともに、部会を開催し海難防止関係機関の協力を得て海難防止啓蒙活動の推進を図った。

また、九州運輸局が行う平成25年度船員労働安全衛生活動に併せて実施する海難防止講習会等の海難防止啓蒙資料として、ポスター等印刷物・グッズを海難防止関係機関と共同で作成し、本部及び支部において海難防止活動を支援した。

(3) 講習会の実施

① 西海防セミナーの開催

第12回西海防セミナー 平成25年12月10日

「技術と安全、安全の文化」

講師 海上保安大学校 名誉教授 日當 博喜

第13回西海防セミナー 平成26年3月24日

「海上防災と航行安全」

講師 海上災害防止センター 防災部、業務担当部長 森 吉高

② 安全講習会の実施

工事作業船、警戒船等の乗組員及び安全管理担当者等に対し7回実施した。

(4) 広報活動

① 「会報」の発行

「会報」第161号～第164号を作成し会員及び関係先に配布した。

② ホームページ等の充実

安全管理情報を充実、強化し、海事関係者はもとより広く社会一般に海難防止思想を啓発した。

③ 海事広報展示館での周知宣伝

平成23年4月に開館した海事広報展示館（関門海峡らいぶ館）に新たに整備した海事広報ディスプレイ等を活用し、関門海峡を中心とした映像等により安全な航行のための周知宣伝を実施した。

II 収益事業

調査事業

1 特定船舶の入港に係る解析調査

平成25年度 LNG 船入港航跡等解析業務

委託者：北九州エル・エヌ・ジー株式会社

期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

・北九州 LNG 基地への大型 LNG 船の入港基準に基づく入港実績データを調査解析した。

2 特定船舶の大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究

苓北発電所港船型大型化に伴う航行安全対策検討業務

委託者：九州電力株式会社

期 間：平成24年8月7日から平成25年5月31日まで

(第1回変更)：平成24年8月7日から平成25年12月27日まで

(第2回変更)：平成24年8月7日から平成26年12月26日まで

・熊本県苓北発電所港における受入船舶の大型化に伴い、平成24年度は同船の入出港・着離棧操船の検討に必要な同港付近の潮流調査及び係留の安全性等の基礎調査を実施した。平成25年度は委員会を開催して、前年度の調査結果をふまえて、操船上の安全性を確認するためビジュアル操船シミュレータ実験を行ったうえで航行安全対策を検討した。

(委員会2回、ビジュアル操船シミュレータ実験1回)

III 会議

1 理事会及び総会

(1) 平成25年度第1回通常理事会

日 時 平成25年5月30日 午後1時30分～午後3時10分

場 所 公益社団法人 西部海難防止協会 会議室

出席者 17名(理事15名、監事2名)

議案審議

第1号議案 平成25年度 事業報告について

第2号議案 平成25年度 決算報告について

第3号議案 平成26年度 事業計画の変更(案)について

第4号議案 平成26年度 収支予算の変更(損益ベース)(案)について

第5号議案 正会員の入会・退会について

第6号議案 理事・監事の選任について

第7号議案 平成25年度定時総会の開催について

(2) 平成25年度定時総会

日 時 平成25年6月20日 午後3時～午後4時10分

場 所 ブルーウェーブイン小倉 2階 会議室「響の間」

北九州市小倉北区浅野2-14-65

出席者 182名(出席者70名、書面74名、委任状38名)

議案審議

第1号議案 平成24年度 決算報告について

第2号議案 理事・監事の選任について

報告事項

平成24年度事業報告について

その他

平成25年度事業計画について

平成25年度収支予算（損益ベース）について

(3) 平成25年度第2回通常理事会

日 時 平成25年6月20日 午後4時15分～午後4時30分

場 所 ブルーウェーブイン小倉 2階 会議室「響の間」

北九州市小倉北区浅野2-14-65

出席者 16名（理事14名、監事2名）

議案審議

第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選任について

第2号議案 副会長、専務理事及び常務理事の選任について

第3号議案 支部長の選任について

(4) 平成25年度第3回通常理事会

日 時 平成25年11月8日 午前11時15分～午後0時3分

場 所 公益社団法人 西部海難防止協会 会議室

出席者 17名（理事15名、監事2名）

議案審議

第1号議案 平成26年度公益財団法人日本海事センター補助金交付申請について

第2号議案 平成25年度変更収支予算（損益ベース）（案）について

その他

株式会社北九州銀行との銀行取引約定書（変更契約用）の締結について
契約保証金について

(5) 平成25年度第4回通常理事会

日 時 平成26年3月18日 午前11時15分～午後0時1分

場 所 公益社団法人 西部海難防止協会 会議室

出席者 14名（理事12名、監事2名）

議案審議

第1号議案 平成26年度事業計画について

第2号議案 平成26年度収支予算（損益ベース）（案）について

第3号議案 正会員の入退会について

第4号議案 顧問の選任について

2 業務運営会議

第1回（平成25年5月24日）

① 業務報告等について

- ② 業務予定等について
- ③ その他
平成25年度第1回及び第2回通常理事会、定時総会提出議案等について

第2回（平成25年10月30日）

- ① 業務報告等について
- ② 常任委員の委嘱について
- ③ その他
平成25年度第3回通常理事会提出議案等について

第3回（平成26年3月12日）

- ① 業務報告等について
- ② その他
平成25年度第4回通常理事会提出議案等について

IV 会員の現状

区分	平成25年4月 会員数	退 会 員 数	入 会 員 数	平成26年度 予定会員数
団体会員	183	4	22	201
個人会員	15	2	2	15
計	198	6	24	216

V 付属明細書

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。